福祉つるみ

第28号　平成9年9月1日発行

編集・発行　社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
鶴見区福祉の風土づくり
推進委員会
鶴見区役所内
TEL.510-1796
FAX.510-1897
印　刷　朝日オフセット印刷株式会社

題字：石田菊雄氏

本紙は自治会・町内会のご協力で全世帯に配布しています。

横浜市民生委員児童委員大会開催



地域福祉の増進のために様々な活動を行っている、民生委員の制度が創設されてから今年で80年目となります。
それを記念して、平成9年6月20日パシフィコ横浜において、横浜市民生委員制度創設80周年記念大会が、多くの出席者のもと開催されました。

地域ケアの拠点として

―家庭での高齢者介護を支える地域ケアプラザの活動から―

「年齢を重ねても、障害があっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい。」そんな願いを実現するために、保健・医療・福祉の関係機関・団体や市民の福祉活動の連携をめざす地域ケアシステムの確立がすすめられています。市民が積極的に地域の福祉活動に参加できる仕組みづくりを支援し、身近なところから在宅サービスが提供されるよう、地域での福祉・保健活動の拠点として、地域ケアプラザが整備されています。

地域ケアプラザの[※1]デイサービス（以下デイ）に通う重度痴呆の遠藤さん（仮名）。ちょっとでも目を離すと玄関から出ていってしまったり、食事もたべさせてあげなければとれません。小さな子どもの世話をしながら介護するお嫁さんにとって毎日が目まぐるしい忙しさです。それでも、デイに送りだした後は、ホッと一息つくことができる子どもと二人だけの時間。週に一回、朝10時から昼の3時までの5時間ですが、この束の間の休息が介護の意欲をつくり出しています。

地域ケアプラザでは、遠藤さんが利用しているようなデイや高齢者を介護する方が利用できる制度・介護方法・介護用品等についての相談事業、地域で生活する高齢者のための地域交流事業などを行っています。

鶴見区では平成6年5月、区内で一館目の地域ケアプラザが潮田に、昨年11月に矢向、12月には寺尾にオープンしました。

潮田地域ケアプラザのデイ利用定員は一日15名です。利用地域は、JR線より海側の市場地区から生麦までですが、利用範囲の人口に比べて規模が小さいため、配食サービスや送迎サービス、[※2]ミニデイサービス、デイを利用するまでには至らない高齢者のためのお茶のみ会など、地域で生活する高齢者のためのサービス事業をボランティアの協力を得て実施しています。

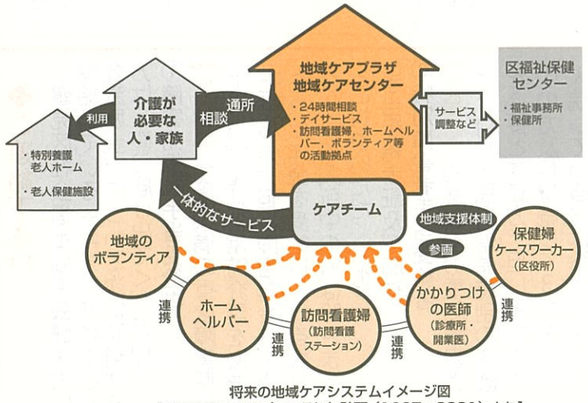
矢向地域ケアプラザは、横浜市で初めてのデイ利用定員30名規模の大型の施設です。このうち、8名分は痴呆の高齢者専用で、デイを週2回利用することができます。利用の範囲は、矢向、尻手だけでなく、上末吉、下末吉、佃野などで、矢向周辺地域の中核施設として期待されています。

寺尾地域ケアプラザは、めがね橋の西側に新設され、デイ利用定員は21名です。この地域ではこれまでドアからドアまでの送迎ができるデイがなかったため、利用申込は開所当初から殺到しています。

鶴見区の3つの地域ケアプラザは、それぞれの特色を生かして全力投球を始めています。それでも、利用希望者数にくらべて施設の定員は足りませんが、区役所や区社会福祉協議会との連携や、ボランティアとの協力により、地域住民の期待にこたえようと意欲に燃えています。

※1デイサービス
週に一回、在宅の虚弱や痴呆の高齢者を車で送迎し、日常動作訓練や健康チェック、入浴、給食、レクリエーションなどを行うサービス。

※2ミニデイサービス
在宅の主に痴呆の高齢者に対し、主としてボランティアが中心となり、個人宅や町内会館等を利用して行う小規模なディサービス。



将来の地域ケアシステムイメージ図
［ゆめはま2010プラン5か年計画（1997～2001）より］

承認鶴見区第16号

あすも

〈区社協事業紹介Part5／ホームヘルパー3級課程養成研修事業〉

区社協はホームヘルパー3級課程養成研修を平成8年度から開講しています。

年々在宅福祉サービスのニーズが高まっている中で、特にホームヘルパーの役割が重要視されてきています。しかし、在宅福祉サービスの中核となる知識や技術の資格をもったホームヘルパーの数に対して、福祉ニーズが圧倒的に多いのが鶴見区の現状です。ニーズに対応できる適切なホームヘルプ活動の展開を図るためにホームヘルパー3級課程養成研修を平成9年度も引き続き開講します。

平成9年度開講予定

【日程】
第1回 9月19日～11月26日まで
第2回 平成10年2月～3月まで
【対象】区内在住、概ね65歳未満の男・女
【受講時間】50時間
【開講場所】
第1回 寺尾地域ケアプラザ
第2回 矢向地域ケアプラザ
【受講料】1万8千円
（資料・研修費含む）
※第一回講座
受付開始　8月18日（月）から
定員になり次第締切
開講曜日　毎週水・金曜日
時間　午前9時30分～
午後0時30分まで
（実習の際は時間等若干異なります）
【問い合わせ先】
鶴見区社会福祉協議会
☎504-5619
FAX504-5616

福祉基金にご協力をお願いします！

区社協では福祉基金を募っています。福祉基金は、ご協力いただいた寄付金を基金の原資として、その果実（利息）を区内の社会福祉充実のために使わせていただくものです。皆様のご厚志をよろしくお願いいたします。

【目標額】2億円

鶴見区社会福祉協議会
☎504-5619
FAX504-5616

善意の寄付をありがとうございました。

平成9年1月～9年6月末日
（　）内は寄付回数です。

金銭をお寄せいただいた方々

三須洋子様(7)
安井松朗様
新井政枝様
野畑雄幸様
貴田米吉様
平井洵子様
中川恵子様
小野梅子様(2)
中川きよの様(2)
石川トキエ様
福中平六郎様
工藤高之祐様(7)
池谷寛様
小野芳太郎様(2)
斉藤百合子様
股野藍子様
野ばら会様
やよい会様
日本鋼管工事労働組合様
鶴見懇話会様
横浜市矢向地区センター様
静和会様
金光教生麦教会様
コーヒーの店トークと客一同様
鶴見区民踊愛好会様
横浜鶴見西ライオンズクラブ様
日本盆栽協会横浜東支部様
横浜市寺尾地区センター様
鶴見北モラロジー事務所女性部様
新日本自動車学校様
お客様・ジャスコ㈱駒岡店・
日本ペプシコ・ウ綱島支店様
深瀬隆男様
鈴木重之様
西脇和子様
鈴木得忍様
亀山實様(2)
石田菊雄様
竹村タカ様(4)
樋高禮子様
阿佐貞太郎様(7)
戸井田啓治様
宮川茂様
米山マツ様(4)
関口富美子様
五神嘉子様(4)
竹田冨美様
匿名様
はねっこんまの会様
旭硝子労働組合様
旭硝子労働組合京浜支部様
旭硝子労働組合本社支部様
明るい社会づくり運動鶴見区協議会様
鶴見区自治連合会婦人部様
ニューツルミゴルフ練習場様
茶友会宮川キヌ子他一同様
はなびら会様　鶴見倉庫㈱様
国際プロプチミスト横浜東様
ボーイスカウト鶴見連絡会様
横浜東部地区連合様
㈱ジー・エル・ジー様
横浜市生麦地区センター様
鶴見中央地区社会福祉協議会様
横浜鶴見ライオネスクラブ様
キリン関連労協横浜地連様

物品をお寄せいただいた方々

三浦順子様
山本勝也様
杉井文枝様
中川トシ子様
竹村タカ様
林康民様(4)
小山みよし様
加藤郁子様
小林恒子様
平井洵子様
久保田行政書士事務所様
吉兆グループ様(3)　小宮製作所様
手話サークルあいうえお様(2)
神奈川経営管理事務所様
鶴見薬剤師会様
㈱トーモク横浜工場様
鶴見乳幼児福祉センター保育園様
日本長期信用銀行有志一同様
横浜鶴見ライオネスクラブ様(3)
生涯学習支援センター様
樋高禮子様
深井恒三様
岡野誠一様
池田剛様
福井祐子様
永田萬治様(3)
浅子タツ様
松元貞子様
蔭山董様
静和会様(2)

三浦の空の下で

―鶴見区小学校合同宿泊学習―

鶴見区内の小学校では、特殊学級に通う子ども達のために、毎年各校合同で宿泊学習を行っています。

今回は、今年6月27日から28日にかけて、「三浦ふれあいの村」で行われた宿泊学習の楽しい活動の様子を、鶴見小学校の神谷先生に紹介してもらいましょう。

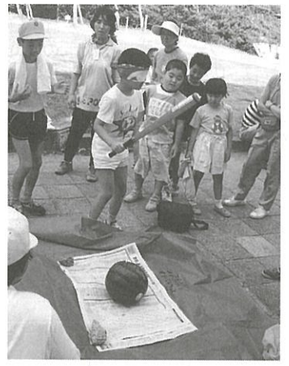
今年も子ども達にとって“待ちに待った楽しい三浦へ”梅雨の晴れ間をぬって元気に行ってきました。児童65名、教員49名、ボランティア6名の合計120名が2台のバスに乗って鶴見を出発。高速道路を走る頃には「ともだちができた、すいかの名産地！」と子ども達の歌声。バスの中はもうすっかり「三浦」になっていました。

一日目は、午前中に油壺マリンパークでイルカショーを観てからお弁当。そして待ちに待った「三浦ふれあいの村」へ到着。昨年も参加している児童は、ウォークラリー、すいか割り、お楽しみ会とつづくプログラムを覚えていて、楽しく活動をしていました。

昨年のことを思い出し、先のことを予想しながら自信を持って行動する子ども達をみていると、一年ごとの積み重ねの大切さを痛感します。また、ここがどこだかわからず、心細そうに担任の後をついて歩く一年生を見ていると、来年の成長が楽しみになります。

強風で花火ができなかったことがちょっと残念でしたが、一日の最後を飾るキャンドルサービスを終えて、みんながベッドに入ったときには、子ども達の寝顔にホッと一息です。

二日目も子どもたちはみんな元気で、楽しい思い出や自信をつめて大きくなったリュックサックをしょって、帰宅のバスに乗り込みました。



早いもので、この合同宿泊学習も今年で22年目を迎えました。

当初は「自然環境の中で、子ども達の個々の発達段階に応じた宿泊学習を味わってもらいたい」という学級担任や保護者の願いから始まったそうです。

このような大きな行事に早くから取組み、今日まで続けてこられたのは、区内3つのロータリークラブの御支援や多くのボランティアの御協力によるところが大きく、地域との心温かいつながりに教職員、保護者一同感謝しています。

このような温かい地域に支えられ、子ども達は心身ともに大きく成長していくことでしょう。

今年、鶴見区は70歳

昭和2年10月1日、横浜市は区制を施行し、私たちの鶴見区は神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の4区とともに誕生しました。今年、鶴見区は70周年を迎えます。

現在、様々な鶴見区制70周年記念事業が計画されています。

10月26日に、36m道路を中心に行われる「サルビアまつり」の中で、「福祉ふれあい運動会」が汐入小学校グラウンドで開かれます。これは鶴見区社会福祉協議会と区障害児者団体連合会が中心となり、区体育指導委員連絡協議会やボランティアなどの協力のもと、区内の身心に障害がある方と地域住民のふれあいを目的に行われるものです。

この他、10月4日の「記念式典」や、子供を中心とした「ワッくんフェスティバル70」、「スポーツ交流の集い」など様々なイベントが区内各地で開かれます。是非、奮って御参加ください。

◆ご連絡下さい

鶴見区社会福祉協議会が年末に支給している「年末たすけあい募金激励金」について次に該当する方は、直接届け出てください。

①障害児福祉手当受給者

【対象者】20歳未満の重度障害児で、日常生活に常時介護を必要とする方。但し障害年金等定められた年金を受給している方及び施設に入所中の方は除きます。

（ご持参いただくもの）
手当受給者証及び印鑑

②特別障害者手当受給者

【対象者】20歳以上の重度障害者で、日常生活に常時特別の介護を必要とする方。但し施設入所中の方及び継続して3か月以上入院している方は除きます。

（ご持参いただくもの）
手当受給者証及び印鑑

③児童扶養手当受給者

【対象者】母子家庭等で児童扶養手当を全額支給されている生活支援を必要とする方で、一定の所得制限や年金受給者制限に該当しない方。

（ご持参いただくもの）
印鑑

なお、証書は8月の現況届けで提出中ですので、後日当会で受給状況を確認いたします。

【届け出期間】9月1日から9月30日

【届け出先】
鶴見区社会福祉協議会
鶴見区鶴見中央3-19-11鶴見会館内
☎504-5619 FAX504-5616

子育てはみんなで楽しく

―地域での親子教室―

私たちの鶴見区は、昔からの下町的な人情が生きているとよくいわれます。それでも区外から引っ越してきた人が新たに地域社会に溶け込んでいくためには、ちょっとした勇気ときっかけが必要なようです。まして、どうしても家にこもりがちな子育て中のお母さんであればなおさらのこと。地域のお母さん達が、互いに助け合い教え合う、そんなグループ活動の一つを紹介します。

地域親子教室「ピノキオ」

「トントントンひげじいさん……」7月のとある水曜日、東寺尾第一町内会館から元気な歌声が聞こえてきます。「ピノキオ」の始まりです。「普段はログハウスの前で子ども達を遊ばせています。今日は七夕ということで、ちょっとイベント風の会合になっています。」お話ししてくれたのは取りまとめ役さん。メンバーは19名、この日も2名の新規会員の加入がありました。「保健所主催の育児教室のOB会として出発したので1歳過ぎの子どものいるお母さんが中心です。東寺尾・馬場の人が中心ですけど、遠方からの人も歓迎ですよ。」

今日の集まりでは、人気のある絵本のキャラクターを使った紙人形劇「ドアの向こうにいるのはだあれ？」「すーいすい、お魚さんだよ」絵本やテレビでおなじみの登場人物が動くので、子供たちは大喜び。

様々なメリット

「私も含め参加者は結婚などで鶴見にきた人が多いようですね。近所に知り合いもいなかったし、同年代の人も少ないので私自身、友達ができてよかったです。」

この他、参加のお母さん方からは①母親がひとりで悩まず情報交換できる。②兄弟のいない子でも集団のルールが身に付けられるなどの声がありました。

紙人形劇が終わって、あとはおやつと自由遊びです。おもちゃの取り合いなどもありますが、これもいい経験と、お母さん方は余裕をもって見守っています。

まずは見に来て

鶴見区ではこのようなサークルが50近くもあり、活動は月1回から週1回、参加者は10～20名、中には40名を越える大所帯もあります。見学は原則自由、保健所でご紹介しますので、子育て中の方は是非一度参加してみてください。問い合わせ先　鶴見保健所保健課指導係
☎510-1837 FAX510-1899



かながわ・ゆめ大会

（第34回全国身体障害者スポーツ大会）

●開催日
平成10年11月7日～8日

●開催競技
かながわ・ゆめ大会では、様々な会場で次の競技が行われます。

◆車椅子バスケットボール
◆バレーボール
◆陸上競技
◆水泳
◆卓球
◆アーチェリー
◆グランドソフトボール

かながわ・ゆめ競技

◆フロアバレーボール
◆車椅子テニス
◆盲人マラソン
◆ビームライフル







●問合わせ先
神奈川県福祉部全国身体障害者スポーツ大会推進室
☎201-1111（内）5647
FAX212-8384

サルビア

高齢化・長寿化の波に乗りつつある私ですが、昨年の5月古希を迎えて内輪のお祝いをしていただき、また、横浜市からの「敬老乗車証」を重宝に使わせていただき、有難いことだなと感謝しております。

しかしその反面、身体の不自由さを感じ、耳の難聴が始まりました。耳鼻科の先生いわく「鼓膜の色はすごくいいのですが、そこにつながる神経が老化しているので、眼鏡と同じように補聴器のお世話にならなければ駄目ですね。」とのこと。補聴器のお世話になってみると、肝心な言葉のやりとりよりも、身近な音をキャッチしてしまうので神経が疲れましたが、「これも訓練ですよ。」といわれた通り、今は気にならなくなりました。

身体の老化はさけられないものの一つですが、それをいかに上手に使っていくかが課題です。

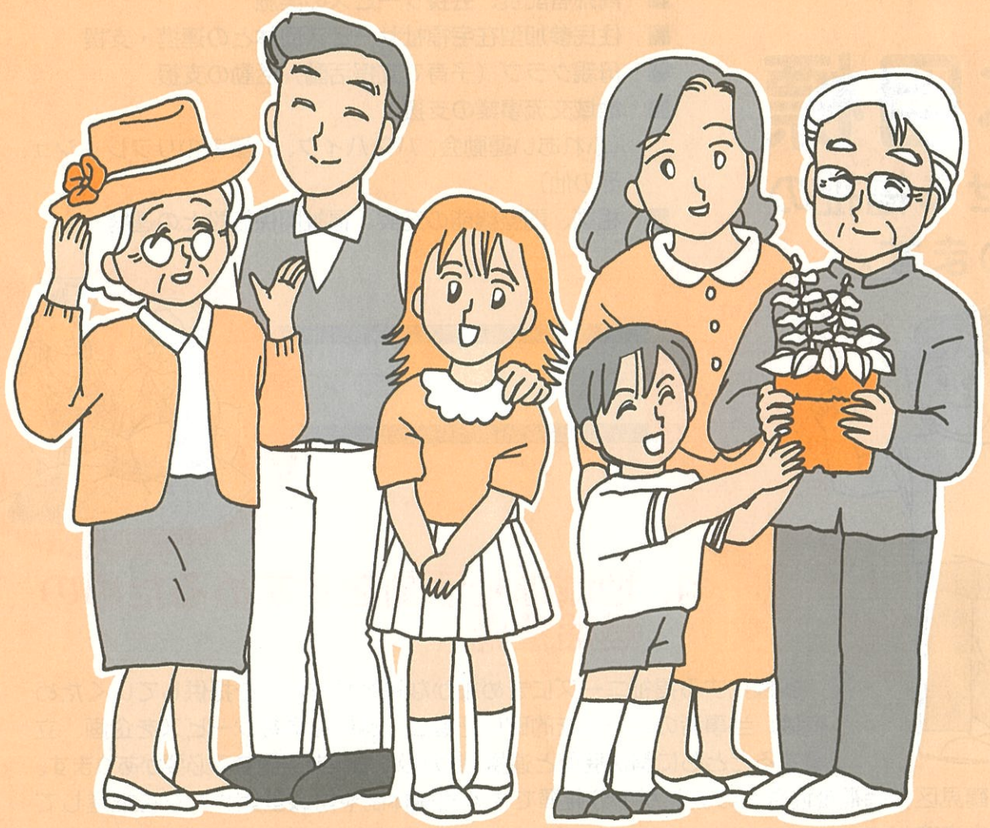
横浜市でもいろいろと福祉サービスの拠点を広げています。ぜひご利用ください。

自分なり感じたことを書いてしまいましたが皆様方のご意見をお待ちしています。（横井久運）

つるみ 都市型 ふるさとプラン

鶴見区地域福祉活動計画

みんなが参加する
福祉のまちづくりをめざして



ふれあいネットワーク

社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会

鶴見区内社会福祉施設所在図



地区社会福祉協議会

1. 矢向地区
2. 市場地区
3. 市場第二地区
4. 鶴見中央地区
5. 潮田中央地区
6. 潮田東部地区
7. 潮見橋地区
8. 潮田西部地区
9. 小野町地区
10. 生麦第一地区
11. 生麦第二地区
12. 豊岡地区
13. 寺尾地区
14. 寺尾第二地区
15. 駒岡地区
16. 上末吉地区
17. 下末吉地区

社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
〒230 横浜市鶴見区鶴見中央3—19—11 鶴見会館内
TEL.504—5619 FAX.504—5616



鶴・見・区・地・域・福・祉・活・動・計・画



社会福祉協議会は、地域の様々な福祉課題を区民の皆さんと、関係機関が協力して解決するため社会福祉事業を実施している団体です。

1. 地域福祉活動の推進 こころ豊かなまちをめざして、ささえあいのまちづくり

地域社会に暮らす全ての人々が住みやすいまちにしていくためには、地域の福祉課題をできるだけ身近な地域で解決することが望ましいと思われます。

住民の福祉への理解を深めながら、自らが福祉課題の担い手として、ささえあいの活動ができるよう地区社会福祉協議会を中心とした福祉保健医療の活動の基盤を整備し、多様な活動の組織化を図り在宅福祉活動の促進を支援します。

- ■ 地区社会福祉協議会活動の支援
  （ひとり暮らしなど高齢者配食・会食サービス・介護者のつどい）
- ■ 福祉保健講座の充実
- ■ 社会福祉大会の開催
- ■ 小地域福祉活動拠点整備の支援
- ■ 地域福祉交流事業の推進
  （児童と高齢者の交流事業・その他敬老行事などの各種地域交流事業）



2. ボランティア活動の推進 地域住民が参加する福祉のまちづくり

地域住民の身近な福祉課題を解決するために、課題を明らかにし、地域住民が福祉活動に参加できるよう学習活動を充実して、地域福祉活動を支える人材の育成を進めます。

- ■ 各種ボランティア講座の開催
- ■ 区ボランティアセンターの運営
  （ボランティアの相談・派遣、交流など）
- ■ 体験学習等の参加の促進
- ■ ホームヘルパー養成研修（3級課程）
- ■ 移送サービス事業の実施



4つの基本目標

だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりをすすめます。

3. 当事者への支援 安らぎと交流の援助システムの確立

地域に暮らす全ての人々が自立した生活を安心して送れるよう福祉制度の充実とともに、小地域における手助けがごく普通のようにできるささえあいの在宅福祉サービスが必要です。

鶴見区社会福祉協議会は住民の福祉ニーズを的確に把握し解決していくために先駆性・柔軟性を活かした事業を展開していきます。

- ■ 高齢者配食、会食サービスの実施
- ■ 住民参加型在宅福祉サービス団体との連携・支援
- ■ 母親クラブ（子育て支援活動）活動の支援
- ■ 地域交流事業の支援
  （ふれあい運動会、バスハイク、介護者のリフレッシュ、その他）
- ■ 相談、調整機能の充実、福祉関係施設との連携



4. 地域福祉活動をすすめるための基盤整備

多様化する福祉ニーズにきめ細かな福祉サービスを提供していくためには、当事者のニーズを的確に把握し、適切な福祉サービスを企画、立案するとともに関係機関と連携・協力して事業を実施する必要があります。

鶴見区社会福祉協議会の機能が十分発揮できる組織体制や財政基盤づくりを推進していきます。

- ■ 事業推進体制の整備
- ■ 民間福祉保健活動拠点の確保
- ■ 賛助会費・福祉基金の充実による安定財源の確保

